

第5回マチコミリサーチ 『生ごみの処理方法について』

ドリームエリア株式会社は、無料の緊急連絡網ツール『マチコミメール』を利用している保護者の方々を対象に、『生ごみの処理方法について』のアンケートを実施いたしました。

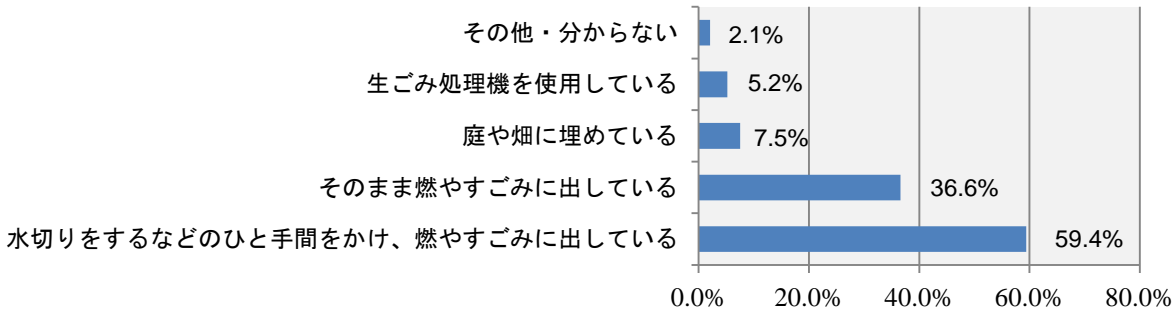
<調査概要>

調査期間	2018年11月15日(木)～11月20日(火)
調査方法	携帯サイト上のアンケートフォームにて回答
調査対象	全国の幼稚園・保育園・小学校・中学校・学童クラブのマチコミメール会員
調査対象数	1,673,773名
有効回答数	31,304件

<質問項目>

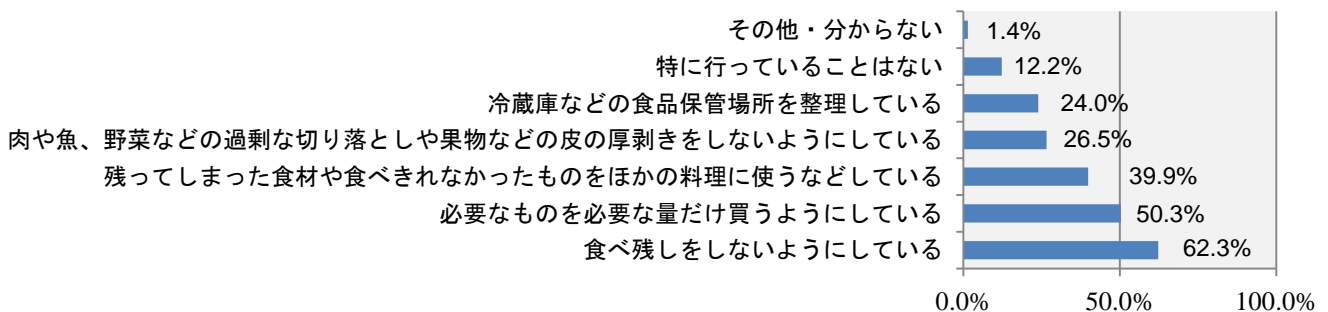
1	ご家庭での生ごみの処理方法は？(複数選択可)
2	生ごみを出さないように取り組んでいることは？(複数選択可)
3	生ごみ処理機を持っていますか？(複数選択可)
4	自治体によっては、生ごみ処理機の購入費の一部を助成していますが、生ごみ処理機の購入を検討したことがありますか？または今後購入する予定はありますか？
5	問4で「購入を検討したことはない」と回答した方、理由をお聞かせください。(複数選択可)
6	助成制度を利用して生ごみ処理機を購入する場合、ご自身で負担する金額がいくらまでならば購入しますか？
7	ご自身のご家庭で使う生ごみ処理機のお試し利用があれば使ってみたいですか？期間は一ヵ月とします。
8	助成制度に加え、どのような条件が揃えば生ごみ処理機を購入しますか？(自由記入)
9	あなたの年齢は？

質問1:ご家庭での生ごみの処理方法は？(複数選択可)



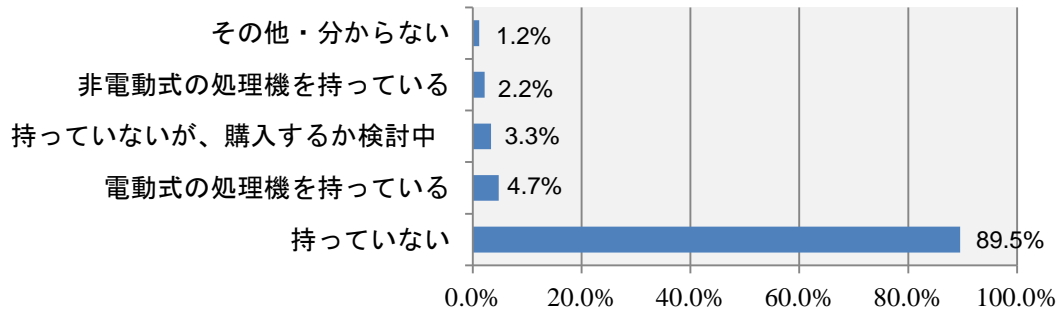
最も多かったのは、「水切りをするなどのひと手間をかけ、燃やすごみに出している」59.4%でした。次いで「そのまま燃やすごみに出している」36.6%、「庭や畑に埋めている」7.5%が続きました。生ごみは水切りが不十分であると嫌な臭いを発生させ、共有スペースであるゴミ捨て場にも悪影響を与えてしまいます。周囲への影響も考えつつ、ライフスタイルにあった方法で処理を行うことが必要です。

質問2:生ごみを出さないように取り組んでいることは？(複数選択可)



一番多かったのは「食べ残しをしないようにしている」の62.3%でした。次いで「必要なものを必要な量だけ買うようにしている」50.3%、「残ってしまった食材や食べきれなかったものをほかの料理に使うなどしている」39.9%でした。こうした取り組みは不要なごみを減らすだけでなく、生ごみの悪臭の原因となる細菌の繁殖を抑えることにも繋がります。結果として家計の節約にもつながり、一石二鳥ならぬ一石三鳥の取り組みと言えるでしょう。

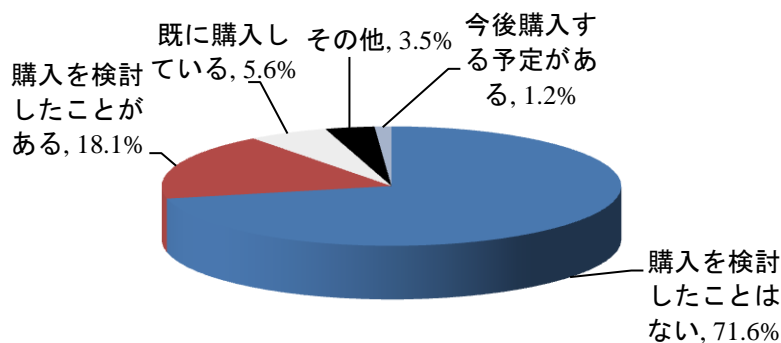
質問3: 生ごみ処理機を持っていますか？(複数選択可)



生ごみ処理機は大きく分けて、電気を使わずに生ごみを処理する「非電動型」と電気を使う「電動型」の2種類があります。分解速度、設置場所や形状、コストも様々で、経済状態やスペース事情などに応じて選べるようになっていますが、保有率は合わせても全体の約7%にとどまりました。

生活を手助けしてくれる生活家電も年々その需要が高まってきており、常に関心が高いものですが、まだまだ認知度が低いのでしょうか。

質問4: 自治体によっては、生ごみ処理機の購入費の一部を助成していますが、生ごみ処理機の購入を検討したことがありますか？または今後購入する予定はありますか？



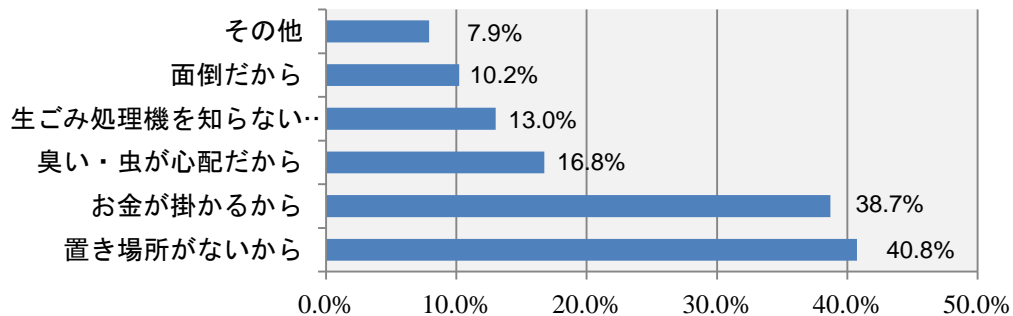
約7割の方が「購入を検討したことはない」と回答されました。生ごみ処理機に興味がある方は全体の2割程度でした。

意外と知られていない助成金制度ですが、自治体によって助成金の有無・金額など条件が異なります。

「生ごみ処理機 自治体名」で検索すると助成金を出している地域では、自治体の電話番号や助成金の上限金額などの記載があります。

購入を検討している方は事前に自治体のHPなどでチェックされてみると良いかもしれません。

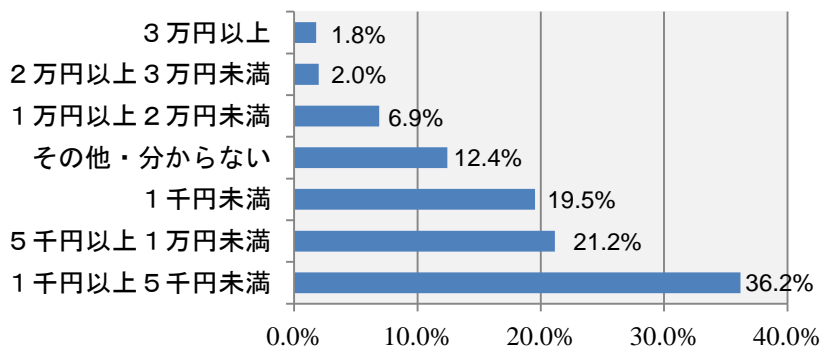
質問5: 問4で「購入を検討したことはない」と回答した方、理由をお聞かせください。(複数選択可)



理由として多く挙げられたのは「置き場所がないから」「お金が掛かるから」でした。メーカーから発売されている生ゴミ処理機の最近の傾向は、処理中の音や臭いを抑えたり、狭いキッチンでも使えるスリムでコンパクトなサイズなどが特徴です。また、電気代を低く抑える工夫を施したものの、深夜電力を効率的に使用できるタイマーが付いたものなども多くみられます。市区町村で紹介されている資料をご覧くださいと条件に合う製品も見つかるかもしれません。(※2)

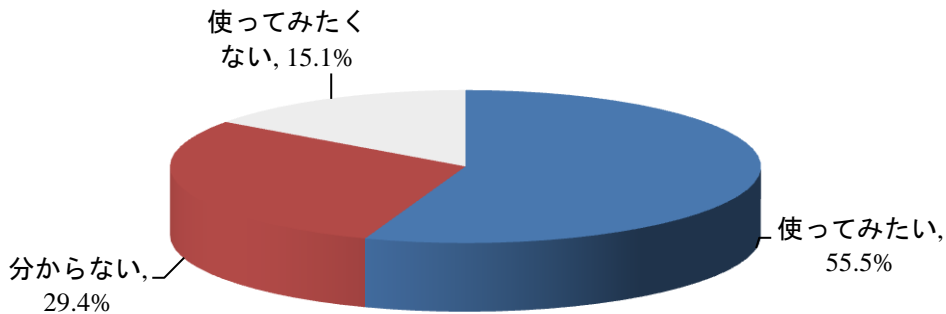
(※2) 出典：鎌倉市 代表的な生ゴミ処理機の種類と特徴
<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/gomi/shoriki1.html>

質問6: 助成制度を利用して生ゴミ処理機を購入する場合、ご自身で負担する金額がいくらまでならば購入しますか？



多かったのは「1千円以上5千円未満」36.2%でした。次いで多かったのは「5千円以上1万円未満」21.2%でした。質問5の購入を検討したことがない方の理由として「お金が掛かるから」が挙げられたように、出来るだけ費用はかけたくないというのが本音のようです。

質問7:ご自身のご家庭で使う生ごみ処理機のお試し利用があれば使ってみたいですか？
期間は一ヵ月とします。



過半数以上の方が「使ってみたい」と回答されました。安い買い物ではないことから、操作性や臭いについても事前に確認しておきたいと考える方が多いことが伺えます。一方、「使ってみたくない」と回答された方は2割弱という結果でした。「分からない」という回答が約3割あることから、生ごみ処理機とはどのような製品なのか分からないという方も多いのかもしれない。

質問8: 助成制度に加え、どのような条件が揃えば生ゴミ処理機を購入しますか？(自由記入)

たくさんのご意見をいただきました！！以下、一部抜粋してご紹介いたします。

回答数：13,768件

【費用について】

- ・処理機を使う際電気代が、かかってしまうので、購入者は、市県民税などの減税があるなら
- ・現在自治会から支給されたバケツを使用して生ゴミ分別をしているが、夏場は臭くて辛いので市から生ゴミ処理機の助成金が出て安く手に入るのであれば使いたいと思っている。
- ・そういうものが家庭用で売ってるのを知らなかった。
場所をとらず便利なもので値段も負担にならないなら購入を検討するかも。
- ・購入時の助成制度があるのは助かりますしよく聞きます。が、その後のメンテナンスにかかってくる費用などは明確ではないです。古くなって交換が必要になった時にかかる費用や、故障時の費用など。
定期的に点検があるのかなども説明があると検討やすくなるのでは？と思います。
- ・生ゴミ処理機が壊れた時の引き取りまで保証されてたら購入は考えます。

【メリットについて】

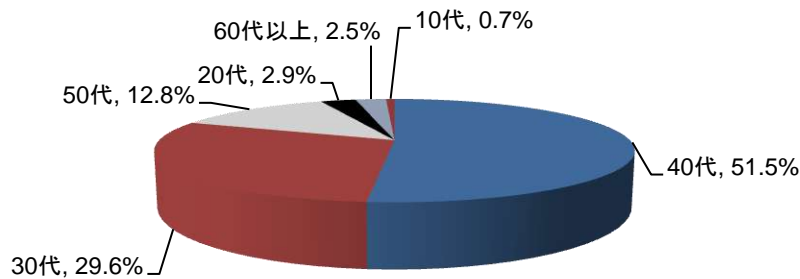
- ・処理後の残渣を肥料に活用できる前提で、それを売ったり、活用方法が広がれば考えたい
- ・エコポイントが加算されて、何かと交換出来たらうれしい。ゴミの量が減った家庭はゴミ処理費用が安くなるとか。
- ・マンションなので置き場所。処理しても土がないから自分の家では使えない。公園や学校で引き取って利用してくれるなら堆肥化してもいいと思える。
- ・何か得るものをバックしてもらえれば。ゴミ袋とか、地域振興券とか

【機能について】

- ・生ゴミ処理機ってザックリしか理解してないが、どんな物なのか、使い方や処理の仕方を提示してくれたらもっと身近になって購入する機会が出てくる。
- ・臭いや虫が気にならず子供に安全で害がなく処理後に手を使わず処理できる
- ・小さい子供がいるので、間違っって子供が操作しないようなガードがある。
または間違っって操作した場合でも危険性のないものであれば、使用してみたい。
- ・現在賃貸マンションに住んでいるのでベランダに設置するようになります。
その為 近所に臭いなどの迷惑をかけないようなものが良いです

【レンタルについて】

- ・実際に使ってみて、便利なのか臭いはないのかなど、良かったと感じられれば購入も考えたいと思うのでレンタル利用が出来れば良いと思います。
- ・各家で購入するより ゴミ収集所に大きなゴミ処理器が据え置かれていて いつでも捨てられるなら 利用するな

質問9:あなたの年齢は？**まとめ**

心がけていても、どうしても出てしまう生ごみ。処理方法として多くの方が燃えるごみに捨てていることが分かりました。また、生ごみを出さない工夫として「食べ残しをしない」「食材を買いすぎない」ように気を付けていることが分かりました。

鎌倉市ごみ減量対策課の方にご家庭での生ごみ処理について伺ったところ、以下のことが重要だと言います。

生ごみには多くの水分が含まれており、水分を含んだものが捨てられ、日に当たると悪臭が発生することがあります。また、焼却の時も水分を含んでいるものを燃やす分燃やす時間が長くなり、当然二酸化炭素の排出量が増えて環境にも負担をかけることとなります。

まずは、なるべく生ごみを出さないように努力することが重要ですが、生ごみを捨てる時は「水切りをしっかりと行うこと」「生ごみを乾燥させること」が大事です。

上記について、知らなかった方も多いのではないのでしょうか。生ごみ処理機を持っていれば、生ごみを乾燥させることや堆肥化することでエコロジーにも繋がります。

あればとても便利な生ごみ処理機ですが、購入には設置場所の問題や初期投資や維持費などの心配をクリアする必要があるようです。

生ごみ処理機はゴミの減量に貢献できるため、助成金を支給して導入しやすくしている自治体も多くあります。少しでも気になった方は、一度お住いの自治体に助成金が出るかだけでも確認してみたいかがでしょうか。

助成金という制度を活用し、日々の生活にほんの数分の「エコ活動」を取り入れて、地球にもお財布にも優しい暮らしをしてみませんか。